

3. スポーツ・レクリエーション系施設

(1) スポーツ施設

ア これまでの取り組み

市民の健康づくり、余暇・レクリエーションの場として、また、スポーツをはじめのきっかけづくりや競技力の向上を図る機会を提供するため、総合体育館など15施設を設置しています。また、公共建築物以外の施設として、稲川陸上競技場など2施設を設置しています。

このほか、施設に多目的ホールや体育館などのスポーツ機能を設置している施設が地区センターや湯沢勤労青少年ホームなど15施設【参考①】、小中学校の体育館・グラウンド・武道場の地域開放施設【参考②】10施設設置しています。また、民間のスポーツ関連施設として、スイミングスクール、フィットネスクラブなどが設置されています。

管理運営については、既に、雄勝スポーツセンターと稲川交流スポーツエリアに指定管理者制度を導入していますが、令和5年4月1日より新たに総合体育館、B&G海洋センター、健康ドーム、ヘルシーパーク、河川敷運動広場松ノ木グラウンドの5施設へ指定管理者制度を導入しているほか、令和6年4月1日より稲川体育館と稲川野球場、稲川陸上競技場にも導入することとしています。

【参考①】地区センターなどの多目的ホールや体育館

施設 No.	施設名	スポーツができる施設	所在地	地区	稼働率
集2	湯沢勤労青少年ホーム	スポーツ室	佐竹町4-52	湯沢	38%
集3	稲川生涯学習センター(稲川農村環境改善センター・稲川公民館)	多目的ホール	川連町字上平城120	川連	—
集6	文化交流センター	多目的ホール	字沖鶴69-5	湯沢	23%
集7	山田地区センター	講堂	山田字中屋敷135-1	山田	21%
集8	三関地区センター	多目的ホール、ゲートボールコート	下関字下舞台5-1	三関	66%
集9	弁天地区センター(農村交流センター)	トレーニング室、ゲートボールコート	森字熊ノ堂上羽場13-1	弁天	46%
集11	ふるさとふれあいセンター	多目的ホール	岩崎字寝連沢9-4	岩崎	46%
集13	幡野地区センター(湯沢農村環境改善センター)	多目的ホール、グラウンド	金谷字樋口123	幡野	35%
集14	須川地区センター	講堂	相川字須川150-3	須川	10%
集15	高松地区センター(郷土学習資料展示施設)	講堂(体育館)、グラウンド	高松字上地6-2	高松	16%
集16	稲庭地区センター(稲川勤労青少年ホーム)	軽運動室	稲庭町字稲庭238-1	稲庭	24%
集17	院内地区センター	トレーニング室	下院内字田用橋61	院内	11%
集19	横堀交流センター	体育館、トレーニング室	横堀字小田中5-2	横堀	42%
集20	小野地区センター	体育館、トレーニング室	小野字油屋敷15	小野	66%
集21	南部文化交流センター	体育室	千石町二丁目4-8	湯沢	64%

【参考②】小中学校の地域開放施設

施設 No.	施設名	開放施設	所在地	地区	稼働率
学1	湯沢東小学校	体育館	杉沢新所字八斗場33	湯沢	86%
学2	湯沢西小学校	体育館	字万石26	湯沢	71%
学3	山田小学校	体育館	山田字土生原52	山田	43%
学8	稲川小学校	体育館	川連町字道下86	川連	71%
学10	雄勝小学校	体育館	横堀字板橋5	横堀	57%

学11	皆瀬小学校	体育館	皆瀬字下菅生27	皆瀬	57%
学12	湯沢北中学校	体育館	杉沢新所字八斗場33	弁天	86%
学14	山田中学校	体育館	山田字下館10	山田	15%
学16	雄勝中学校	体育館、武道場、グラウンド	横堀字板橋5	横堀	29%
学17	皆瀬中学校	体育館	皆瀬字下菅生24-1	皆瀬	0%

イ 現状と課題

体育館は総合体育館など5施設を設置し、このうち3施設は建築から40年以上経過し老朽化が進んでいます。各施設（アリーナ）の稼働率は21%～79%となっています。野球場は稲川野球場など3施設で、このうち雄勝野球場のスタンドは老朽化が顕著となっています。各施設の稼働率は12%～35%となっています。このほか、弓道場、武道館を設置していますが老朽化が進んでいます。稼働率はそれぞれ71%、49%となっています。

スポーツ施設17施設の管理運営は、2施設（令和5年度から7施設）が指定管理者制度により、15施設（令和5年度から10施設）が市直営で行っており（令和6年度からは指定管理者制度が10施設、市直営が7施設）、指定管理料と人件費を含む管理運営費の総額は113,361千円となっています。施設使用料等の収入は、減額・免除規定適用の団体が多く、総額では15,767千円で、管理運営費総額に占める割合は14%です。

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
ス1	総合体育館	H5	47	29	4,924	直営管理	※1	21,527	1,562	30,400
ス2	体育センター	S53	34	44	1,091		会2	8,659	731	19,600
ス3	稲川体育館	S55	34	42	1,647		※2	3,935	363	15,100
ス4	雄勝スポーツセンター (旧秋ノ宮小学校)	H8	47	26	3,340	指定管理	—	16,915 17,059	25 17,059	8,900
ス5	皆瀬体育館	S48	34	49	926	直営管理	※3	1,981	39	4,200
ス6	B&G海洋センター	H4	34	30	1,151		※1	6,563	363	3,600
ス7	健康ドーム	H4	34	30	792			1,000	311	6,600
ス8	稲川交流スポーツエリア	H7	34	27	1,581	指定管理	—	8,524 9,671	— 9,671	9,700
ス9	稲川スキー場	H30	22	4	945	直営管理	会20	27,758	10,826	19,700
ス10	湯沢弓道場	S55	22	42	169		※4	1,449	327	4,500
ス11	湯沢武道館	S52	34	45	519			1,287	117	5,500
ス12	稲川野球場	H3	47	31	611		※2	5,285	34	4,900
ス13	雄勝野球場	S54	47	43	112		※5	2,005	27	2,200
ス14	皆瀬野球場	S61	47	36	86		※3	1,976	18	2,800
ス15	ヘルシーパーク	H6	22	28	170		※1	2,810	999	6,800
ス16	稲川陸上競技場	—	—	—	—		※2	27	—	—
ス17	河川敷運動広場松ノ木グラウンド	—	—	—	—		※1	1,660	25	5,000

※1 総合体育館、B&G海洋センター、健康ドーム、ヘルシーパーク、河川敷運動広場松ノ木グラウンドは生涯学習課で一括管理

※2 稲川体育館、稲川野球場、稲川陸上競技場は稲川生涯学習センターで一括管理

※3 皆瀬体育館、皆瀬野球場は皆瀬生涯学習センターで一括管理

- ※4 湯沢弓道場、湯沢武道館は体育センターと一括管理
- ※5 雄勝野球場は雄勝生涯学習センターで管理
- ※6 雄勝野球場の支出・収入・利用人数はR3実績（R4グラウンド等整備改修工事实施のため）
- ※7 支出・収入欄の2段書きのうち、上段は市、下段は指定管理者の収支額

ス1 総合体育館

鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積4,924㎡。平成5年に新耐震基準で建設し、建築から26年経過しています。平成23年に浄化槽撤去工事、平成24年に屋外手摺改修工事、平成26年に外壁修繕工事、平成30年に屋根及び外壁改修工事を実施しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日9時から21時までで、管理運営は市直営（令和5年度から指定管理者）で行い、人件費を含む管理運営費は21,527千円で、施設使用料として1,562千円の収入があります。

施設はアリーナ、研修室、トレーニングルーム、ジョギングコース等で構成し、生きがい健康教室やカンガルースクールなどの市主催事業のほか、各種大会などに使用され、年間約30,400人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
アリーナ	64	研修室	4	トレーニングルーム	39
				ジョギングコース	65

ス2 体育センター

鉄骨造平屋建て、付属施設を含む延床面積1,091㎡。昭和53年に旧耐震基準で建設し、建築から44年経過し老朽化が進んでおり、平成19年に屋根葺替工事を行っています。なお、令和元年度に耐震補強工事を実施し、耐震基準を満たしています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、9時から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は8,659千円で、施設使用料として731千円の収入があります。

施設はアリーナ（稼働率79%）、ミーティングルーム（稼働率22%）等で構成し、スポーツ少年団、中学校等の部活動、一般スポーツ団体の活動やキッズステーションの会場として使用され、年間約19,600人が利用しています。

ス3 稲川体育館

鉄骨造2階建て、延床面積1,647㎡。昭和55年に旧耐震基準で建設し、建築から42年経過し老朽化が進んでおり、平成18年に高気圧中開閉器交換工事、平成22年に高圧ケーブル交換、平成24年にコートライン改修工事を行っています。なお、令和元年度に耐震補強工事を実施し、耐震基準を満たしています。

開館日・開館時間は、年末年始と火曜日を除く毎日、9時から21時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は3,935千円で、施設使用料として363千円の収入があります。

施設は、アリーナ（稼働率73%）と2階の和室で構成し、8人制バレーボールやミニバスケットボール大会など事業の一部を委託しているほか、稲川中学校の部活動や自主活動サークルの卓球教室、川連漆器フェアなどにも使用され、年間約15,100人が利用しています。

ス4 雄勝スポーツセンター（旧秋ノ宮小学校）

平成26年度まで秋ノ宮小学校の校舎・体育館として使用していた施設を、同校の廃校に伴い平

成27年度から転用したもので、鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て、付属施設を含む延床面積3,340㎡。平成8年に新耐震基準で建設し、建築から26年経過しています。

開館日・開館時間は年末年始を除く毎日、9時から21時までで、管理運営は指定管理で行い、指定管理者が支出する管理運営費は17,059千円で、指定管理料16,228千円のほか施設利用料24千円など合計17,059千円の収入があります。市は指定管理料のほか修繕料などで16,915千円を支出し、自動販売機の電気料金負担金として25千円の収入があります。

施設は、体育館、トレーニングルーム、活動室、会議室、図書室等で構成し、市と指定管理者が共催するスポーツスクールやサークル活動などに使用され、年間約8,900人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
体育館	35	トレーニングルーム	73
活動室	12	会議室	1

ス5 皆瀬体育館

鉄骨造2階建て、延床面積926㎡。昭和48年に旧耐震基準で建設し、耐震診断は未実施です。平成6年に暖房設備設置工事、平成17年に床ビニールシート張替及び内装塗装工事、平成25年に屋根塗装工事を実施していますが、建築から49年経過し、老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始と土・日曜日、祝日を除く毎日、月・水・金曜日は9時から22時まで、火・木曜日は9時から17時15分までで、毎週金曜日は、夜間一般開放日として18時から22時まで無料開放しています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は1,981千円で、施設使用料として39千円の収入があります。

施設は、アリーナ（稼働率21%）のみで、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等の活動のほか、敬老会や保育園の発表会等、地域イベントの会場にも使用され、年間約4,200人が利用しています。

ス6 B&G海洋センター

鉄骨造平屋建て、延床面積1,151㎡。平成4年に新耐震基準で建設し、建築から30年経過しています。平成29年に鉄骨塗装工事、平成30年にプール缶体塗装工事を実施しています。

開館日・開館時間は6月下旬から9月上旬までで、利用時間は、日中営業が毎日10時から16時、ナイターは7月、8月の18時から20時30分となっています。管理運営は市直営（令和5年度から指定管理者）で行い、人件費を含む管理運営費は6,563千円で、入場料として363千円の収入があります。

市内唯一の公共プールで、施設は25mプール、幼児用プール、シャワー室、更衣室等で構成し、スポーツ教室や幼稚園・保育園、県立稲川支援学校の授業などにも使用され、年間約3,600人が利用しています。

ス7 健康ドーム

鉄骨造平屋建て、延床面積792㎡。平成4年に新耐震基準で建設し、建築から30年経過しています。平成25年に車椅子対応便器設置工事を実施しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、9時から21時まで（月曜日は9時から17時まで）で、管理運営は市直営（令和5年度から指定管理者）で行い、管理運営費は1,000千円で、施設使

用料として311千円の収入があります。

施設はドーム型の屋内運動場（稼働率34%）で、冬期間の野球スポーツ少年団や中学校野球部の練習場所として、また、高齢者や障がい者のスポーツ活動場所として使用され、年間約6,600人が利用しています。

ス8 稲川交流スポーツエリア

鉄骨造平屋建て、附属施設を含む延床面積1,581㎡。平成7年に新耐震基準で建設し、建築から27年経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始と火曜日を除く毎日、9時から21時まで（屋外施設は積雪時使用不可）で、管理運営は指定管理者が行い、指定管理者が支出する管理運営費は9,671千円で、指定管理料8,511千円、施設利用料1,160千円を合わせて9,671千円の収入があります。市は指定管理料のほか建物火災保険料などで8,524千円を支出しています。

施設は、屋内運動場、テニスコート、壁打ちテニス、屋外バスケ、ゲートボール場で構成し、野球教室やグラウンドゴルフ大会を実施しているほか、自主活動サークル等に使用され、年間約9,700人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
屋内運動場	47	壁打ちテニス	5	ゲートボール場	0
テニスコート	19	屋外バスケ	8		

ス9 稲川スキー場

稲川スキー場のヒュッテ（あつたまり～な）は、木造一部鉄骨造平屋建て、附属施設を含む延床面積945㎡。平成30年に新耐震基準で建設し、建築から4年経過しています。

営業期間は12月下旬の滑走可能な日から3月中旬までで、利用時間は、日中営業（3月は土、日曜日のみ営業）が9時から16時、ナイター営業（火、水、木、金、土曜日）が17時30分から21時となっています。管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は27,758千円で、施設使用料として10,826千円の収入があります。

施設は、ヒュッテ、休憩所、リフト1基、アンバーリフト1基、ナイター設備、ファミリーゲレンデコース、ダウンヒルコース等で構成し、個人利用のほかスキークラブによるスキースクールや競技大会などにも使用され、年間約19,700人が利用しています。

ス10 湯沢弓道場

木造平屋建て、延床面積169㎡。昭和55年に旧耐震基準で建設し、耐震診断は未実施で、建築から42年経過し老朽化が進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、9時から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は1,449千円で、施設使用料として327千円の収入があります。

施設は弓道場（稼働率71%）のみで、市内高校の練習拠点として使用されているほか、弓道団体の練習や大会で使用され、年間約4,500人が利用しています。

ス11 湯沢武道館

鉄骨造平屋建て、延床面積519㎡。昭和52年に旧耐震基準で建設し、耐震診断は未実施で、平成23年に屋根葺替工事、平成28年に床改修工事を実施していますが、建築から45年経過し老朽化が

進んでいます。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、9時から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は1,287千円で、施設使用料として117千円の収入があります。

施設は武道館(稼働率49%)のみで、市内中学校剣道部の練習拠点として使用されているほか、少林寺拳法や柔道、エアロビクスなどの団体に使用され、年間約5,500人が利用しています。

ス12 稲川野球場

両翼97m、中堅(センター側)118mの野球場で、外野は天然芝となっています。スタンドは、鉄筋コンクリート造、延床面積611㎡。平成3年に新耐震基準で建設し、建築から31年経過しています。平成27年に判定表示灯改修工事、平成28年に外野芝整備工事、平成29年に内野整備工事を実施しています。

開設期間・開設時間は、積雪により使用不能となる冬期間を除く毎日、5時から21時までで、管理運営は市直営(令和6年度から指定管理者)で行い、人件費を含む管理運営費は5,285千円で、施設使用料として34千円の収入があります。

野球場(稼働率35%)には、バックスクリーンや得点板、ナイター照明等の諸設備があり、中学校の野球部の練習や野球連盟の大会などに使用され、年間約4,900人が利用しています。

ス13 雄勝野球場

両翼92m、中堅(センター側)116mの野球場で、外野は天然芝となっています。令和4年にグラウンド等整備改修工事を実施しています。スタンドは鉄筋コンクリート造、付属施設を含む延床面積112㎡。昭和54年に旧耐震基準で建設し、耐震診断は未実施で、平成28年にスタンド外壁補修工事を実施していますが、建築から43年経過し老朽化が進んでいます。

開設期間・開設時間は、冬期間を除く毎日、5時から日没までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は2,005千円で、施設使用料として27千円の収入があります。

雄勝中学校野球部の練習拠点として、また、スポーツ少年団、中学校体育連盟及び軟式野球連盟の大会等に使用され、年間約2,200人(稼働率22%)が利用しています。

ス14 皆瀬野球場

両翼90m、中堅(センター側)120mの野球場で、外野は天然芝となっています。スタンドを含む本部記録室は鉄筋コンクリート造平屋建て、付属施設を含む延床面積86㎡。昭和61年に新耐震基準で建設し、建築から36年経過しています。平成25年にバックスクリーン・スコアボード等改修工事、平成26年に外野フェンス改修工事を実施しています。

開設期間・開設時間は、積雪により使用不能となる冬期間を除く毎日、5時から日没までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は1,976千円で、施設使用料として18千円の収入があります。

皆瀬野球大会や男女混合ソフトボール大会のほか、皆瀬OB野球チーム、軟式野球連盟などの大会や練習に使用され、年間約2,800人(稼働率12%)が利用しています。

ス15 ヘルシーパーク

ヘルシーパーク内のパークゴルフクラブハウスは、木造平屋建て、延床面積170㎡。平成6年に新耐震基準で建設し、建築から28年経過しています。令和2年に屋根塗装等の改修工事を実施しています。

パークゴルフ場の開設期間・利用時間は5月から10月までの毎日9時から17時となっています。公園機能の部分は常に開放しています。管理運営は市直営（令和5年度から指定管理者）で行い、管理運営費は2,810千円で、施設使用料として999千円の収入があります。

施設は、パークゴルフ場と多目的広場・芝生広場で構成し、市民総合体育大会（パークゴルフ）などのほか、市内の幼稚園、保育園の行事で使用され、年間約6,800人が利用しています。利用状況は次のとおりです。

【利用状況】

施設名	稼働率(%)	施設名	稼働率(%)
パークゴルフ場	89	多目的広場・芝生広場	2

ス16 稲川陸上競技場

日本陸上競技連盟公認第4種の陸上競技場で、6レーンの400mトラック、各種跳躍・棒高跳ピット、砲丸投げピットを備えています。建築物はありません。

積雪により使用不能となる冬期間を除き、曜日や時間を問わず利用でき、管理運営は市直営（令和6年度から指定管理者）で行い、管理運営費は27千円を支出しています。

陸上競技協会、体育連盟等が主催の陸上競技大会や、隣接する稲川野球場で行われる野球大会の練習会場として使用されています。

ス17 河川敷運動広場松ノ木グラウンド

野球場2面と自由広場で構成するグラウンドで、建築物はありません。

積雪により使用不能となる冬期間を除き、曜日を問わず日の出から日没まで利用でき、管理運営は市直営（令和5年度から指定管理者）で行い、管理運営費は1,660千円で、施設使用料として25千円の収入があります。

地元団体主催の野球大会やサッカー大会等で使用され、年間約5,000人が利用しています。

【参考③】 ○指定管理方式導入済施設（7施設）

施設No.	施設名	所在地	地区	指定管理開始年度
ス1	総合体育館	字沖鶴140	湯沢	令和5年度
ス4	雄勝スポーツセンター（旧秋ノ宮小学校）	秋ノ宮字中島365	秋ノ宮	平成27年度
ス6	B&G海洋センター	字沖鶴171	湯沢	令和5年度
ス7	健康ドーム	字沖鶴168	湯沢	令和5年度
ス8	稲川交流スポーツエリア	川連町字大館中野87-1	川連	平成26年度
ス15	ヘルシーパーク	字沖鶴110	湯沢	令和5年度
ス17	河川敷運動広場松ノ木グラウンド	山田字下新山沖地内	山田	令和5年度

○市直営管理施設（10施設）

施設No.	施設名	所在地	地区	指定管理開始年度
ス2	体育センター	千石町二丁目1-57	湯沢	
ス3	稲川体育館	川連町字上平城120	川連	令和6年度予定
ス5	皆瀬体育館	皆瀬字沢梨台107-1	皆瀬	
ス9	稲川スキー場	駒形町字八面深沢地内	駒形	
ス10	湯沢弓道場	千石町二丁目3-25	湯沢	

ス11	湯沢武道館	千石町二丁目1-59	湯沢	
ス12	稲川野球場	三梨町字間明田140	三梨	令和6年度予定
ス13	雄勝野球場	横堀字六郎川原52	横堀	
ス14	皆瀬野球場	皆瀬字上小保内3	皆瀬	
ス16	稲川陸上競技場	三梨町字間明田140	三梨	令和6年度予定

【現状と課題のまとめ】

市民の健康づくりや、余暇・レクリエーションの場として、また、スポーツをはじめのきっかけづくりや競技力向上のための機会を提供するスポーツ施設については今後も必要な機能ですが、十分に活用されていない施設もあります。一方、市内には地区センター等に多目的ホールなどのほか、各小中学校の体育館やグラウンドなどの地域開放も行われています。各スポーツ施設の利用実態を精査し、必要性を含め今後のあり方について検討が必要です。

また、17施設の管理運営費の総額は113,361千円（令和4年度）に及んでいます。民間活力や地域力を活用し、効果的かつ効率的な管理運営手法の検討が必要です。さらに、施設使用料等の収入は15,767千円（令和4年度）と、施設の管理運営費総額に占める割合は約14%です。減額・免除規定の見直しを含め、受益者負担の適正化への取組が課題となっています。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 市民の健康づくりや余暇・レクリエーション活動の場として、また、スポーツをはじめのきっかけづくりや競技力向上を図るため、基本的に継続します。
- 全県、全市的なスポーツ大会等が開催可能な基幹体育館を設置するほか、各地域には地域住民のスポーツ活動の拠点として、地域体育館を設置します。他のスポーツ施設については、第4次湯沢市スポーツ推進計画（R3～R7）や、湯沢市スポーツ施設整備基本計画（H28～R7）、湯沢市スポーツ施設整備実施計画（R3～R7）に基づき、原則として、計画期間中は維持しますが、スポーツ機能を有する他の施設（地区センター等）や、小中学校の地域開放施設の配置状況等を精査し、施設配置のあり方を検討します。
- 効果的かつ効率的な管理運営を行うため、費用対効果を検証し、地域力・民間活力の活用を検討するとともに、周辺自治体との連携（共同利用・共同運営・共同設置）を検討します。
- 施設の使用料は、受益者負担の適正化の観点から、減額・免除規定を含めて見直します。

【個別施設ごとの対応方針】

ス1 総合体育館

- 全県、全市的なスポーツ大会等が開催可能な湯沢市の基幹体育館として継続します。
- 平成5年に新耐震基準で建設した建物であることから、湯沢市スポーツ施設整備基本計画、湯沢市スポーツ施設整備実施計画を踏まえ、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

ス2 体育センター

- 総合体育館のほか、他の公共施設に併設するスポーツ施設や学校開放施設の配置や利用状況を精査し、今後のあり方について検討します。
- 昭和53年の建設で、耐震基準を満たしているものの、建物・設備の老朽化が進んでいます。また、管理運営は市直営で行っています。上記の検討結果に基づき、施設の修繕等のあり方、管理運営手法について検討します。

ス3 稲川体育館

- 稲川地域の地域体育館として継続します。
- 昭和55年の建設で、耐震基準を満たしているものの、建物・設備の老朽化が進んでいることから、当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、10年後を目途に、建替えを含め、今後のあり方を検討します。
- 令和6年度から、稲川スポーツ交流エリアなどの施設と一体的・包括的な指定管理者制度の管理運営に移行します。

ス4 雄勝スポーツセンター（旧秋ノ宮小学校）

- 雄勝地域の地域体育館として継続します。
- 平成8年に新耐震基準で建設した建物であることから、湯沢市スポーツ施設整備基本計画、湯沢市スポーツ施設整備実施計画を踏まえ、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 指定管理者による管理運営を継続しますが、業務仕様書における要求水準の内容を精査するなど、指定管理者制度の適正な運用を図ります。

ス5 皆瀬体育館

- 皆瀬地域の地域体育館として継続します。
- 旧耐震基準で建設し、耐震診断は未実施で、建築から49年経過し老朽化が顕著となっています。当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、10年後を目途に建替えを含め、今後のあり方を検討します。
- 民間活力を活用した管理運営のあり方を検討します。

ス6 B&G海洋センター

- 市内唯一の市民プールとして継続します。
- 平成4年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な改修を行い継続使用します。

ス7 健康ドーム

- 屋外施設を使うことができない冬期間の利用率が高いことから、積雪時のスポーツの場を提供するため継続します。
- 平成4年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な修繕を行い継続使用します。

ス8 稲川交流スポーツエリア

- 稲川地域の屋内外の運動環境を有する施設として継続します。
- 平成7年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 令和6年度から、稲川体育館などの施設と一体的・包括的な指定管理者制度の管理運営に移行

します。

ス9 稲川スキー場

- 市の冬期間のスポーツ拠点施設として継続します。
- ヒュッテ及び休憩所については、必要な修繕を行い継続使用します。
- 開場時期が冬季に限られていることから、市の直営管理を継続します。

ス10 湯沢弓道場

- 唯一の市営弓道場として、当面、継続します。
- 旧耐震基準で建築し、耐震診断は未実施で、建築から42年経過し老朽化が進んでいることから、当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、10年後を目途に、建替えを含め、今後のあり方を検討します。

ス11 湯沢武道館

- 唯一の市営武道館として、当面、継続します。
- 旧耐震基準で建築し、耐震診断は未実施で、建築から45年経過し老朽化が進んでいることから、当面、必要な修繕を行い継続使用しますが、10年後を目途に、学校施設の活用や建替えを含め、今後のあり方を検討します。

ス12 稲川野球場

- 全日本軟式野球連盟公認第2種野球場であり、市のメイン野球場として継続します。
- 平成3年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 令和6年度から、稲川交流スポーツエリアなどの施設と一体的・包括的な指定管理者制度の管理運営に移行します。

ス13 雄勝野球場

- 雄勝地域の野球場として、当面、継続します。
- スタンド等は建築から43年経過し老朽化が進んでいることから、メインスタンドは解体し、本部室・審判室等についてはプレハブ等での代替も含め、今後のあり方を検討します。
- 民間活力を活用した管理運営のあり方を検討します。

ス14 皆瀬野球場

- 皆瀬地域の野球場として、当面、継続します。
- 昭和61年に新耐震基準で建設した建物であることから、必要な修繕を行い継続使用します。
- 民間活力を活用した管理運営のあり方を検討します。

ス15 ヘルシーパーク

- 市街地に近く、パークゴルフ場や公園機能を有する芝生広場など市民の憩いの場として、必要な改修を行い、継続します。
- 平成6年に新耐震基準で建設した建物（クラブハウス）であることから、必要な改修を行い、継続使用します。

ス16 稲川陸上競技場

- 日本陸上競技連盟公認第4種の陸上競技場として維持管理を行い継続使用します。

- 令和6年度から、稲川交流スポーツエリアなどの施設と一体的・包括的な指定管理者制度の管理運営に移行します。

ス17 河川敷運動広場松ノ木グラウンド

- 市民の身近な運動施設として、必要な維持管理を行い継続使用します。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) ~ (R12)
スポーツ施設 【共通事項】	 第5次湯沢市スポーツ推進計画等の策定の中で施設の配置のあり方について検討		 検討結果に基づく対応		
総合体育館 雄勝スポーツセンター	 保全計画等に基づく改修を行い継続使用				
体育センター	 施設のあり方検討		 検討結果に基づく対応		
稲川体育館	 指定管理導入				 施設のあり方検討
	必要な修繕を行い継続使用				
稲川スポーツ交流エリア 稲川野球場 稲川陸上競技場	 指定管理導入				 施設のあり方検討
	必要な修繕・維持管理を行い継続使用				
皆瀬体育館 湯沢弓道場 湯沢武道館	 必要な修繕を行い継続使用				 施設のあり方検討
	必要な修繕・維持管理を行い継続使用				
B&G海洋センター ヘルシーパーク	 必要な改修を行い継続使用				
健康ドーム 稲川スキー場 皆瀬野球場 河川敷運動広場松ノ木グラウンド	 必要な修繕・維持管理を行い継続使用				
雄勝野球場	 メインスタンド等施設のあり方の検討		 検討結果に基づく対応		

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
ス1	総合体育館	継続	●	0	2,397,754	2,397,754	2,001,411	0	2,001,411	19,366	19,366
ス2	体育センター	検討		591,322	531,317	1,122,639	591,322	0	591,322	5,234	5,234
ス3	稲川体育館	継続		892,896	802,289	1,695,185	0	0	0	2,587	2,587
ス4	雄勝スポーツセンター（旧秋ノ宮小学校）	継続	●	905,227	1,626,736	2,531,963	1,357,840	0	1,357,840	10,796	10,796
ス5	皆瀬体育館	継続		501,939	451,004	952,942	0	0	0	1,158	1,158
ス6	B&G海洋センター	継続		311,894	560,488	872,382	311,894	0	311,894	6,285	6,285
ス7	健康ドーム	継続		214,754	385,923	600,677	0	0	0	1,000	1,000
ス8	稲川交流スポーツエリア	継続		428,429	769,908	1,198,337	0	0	0	3,307	3,307
ス9	稲川スキー場	継続		256,120	0	256,120	0	0	0	13,654	13,654
ス10	湯沢弓道場	継続		45,788	82,284	128,072	0	0	0	715	715
ス11	湯沢武道館	継続		281,293	252,748	534,041	0	0	0	553	553
ス12	稲川野球場	継続		165,638	297,659	463,297	0	0	0	4,540	4,540
ス13	雄勝野球場	検討		60,577	54,430	115,007	60,577	0	60,577	707	707
ス14	皆瀬野球場	継続		23,206	41,702	64,908	0	0	0	977	977
ス15	ヘルシーパーク	継続		46,121	82,883	129,004	46,121	0	46,121	2,810	2,810
概算事業費（合計）				4,725,204	8,337,124	① 13,062,328	4,369,166	0	② 4,369,166	③ 73,689	④ 73,689

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 8,693,163 千円	0 千円

※ 稲川陸上競技場、河川敷運動広場松ノ木グラウンドは建築物がないため記載していません。